

船舶事故調査報告書

平成25年3月14日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 庄 司 邦 昭
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成24年2月9日 08時15分～14時25分ごろの間）
発生場所	不明（兵庫県姫路市男鹿島東方沖～兵庫県南あわじ市湊漁港沖の間）
事故調査の経過	<p>平成24年2月13日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。</p> <p>原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。</p>
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 <small>しんせい</small> 新盛丸、4.8トン HG3-42233（漁船登録番号）、個人所有 11.49m (Lr) × 3.00m × 0.77m、FRP ディーゼル機関、48kW（動力漁船登録票による）、昭和61年1月27日
乗組員等に関する情報	船長 男性 63歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和51年7月31日 免許証交付日 平成23年8月15日 （平成28年9月7日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	プロペラ及び舵破損
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、平成24年2月9日05時30分ごろ姫路市坊勢漁港を出港した後、男鹿島東方沖の小型底びき網漁の漁場において僚船と操業を行い、海上模様が悪化したため、僚船が帰航したが、本船船長は、操業を続けた。</p> <p>荒天のために坊勢漁港帰航中の別の僚船は、08時15分ごろ、本船が、底びき網をひいて西進し、その後、08時30分ごろ南進しているところを目撃した。</p> <p>さらに、別の僚船が、11時30分ごろ播磨灘航路第4号灯浮標付近を南下する本船を目撃したが、その時、船長が乗船していたかは、確認できなかった。</p> <p>本船は、14時25分ごろ、湊漁港沖の消波ブロックにおいて、エンジンがかかり、底びき網が出た状態で座礁しているところを発見されたが、船内に船長がいないことが判明し、海上保安庁の巡視船艇及</p>

	<p>び航空機並びに僚船約200隻による捜索が行われたものの、船長は発見されなかった。</p> <p>船長は、平成24年7月8日23時～24時ごろ、兵庫県淡路市富島港において、遺体で発見されたが、船長の死因は、特定されなかった。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 西、風力 3、視界 良好</p> <p>海象：波高 約2m</p> <p>本事故当日、姫路市に強風波浪注意報が発表されていた。</p>
その他の事項	<p>本船は、通常、男鹿島東方沖で小型底びき網漁を操業していた。</p> <p>船長は、本事故当時、救命胴衣を着用していたかについては、確認できなかったが、船内に救命胴衣が残っていた。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>船長の死因は、特定されなかった。</p> <p>本船は、08時15分ごろ、男鹿島東方沖の漁場において、底びき網をひいて西進中を目撃された後、14時25分ごろ、湊漁港沖の消波ブロックにおいて、エンジンがかかり、底びき網が出た状態で座礁しているところを発見されたが、船長が船内にいなかったことから、この間において、小型底びき網漁を操業中に船長が落水したものと考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が小型底びき網漁を操業中、船長が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>
参考	<p>兵庫県漁業協同組合連合会は、海中転落による海難事故が後を絶たない現状から合羽に浮力をもたせたものを独自に企画考案し、浮力実験を行い、漁労作業時の着心地や作業性について検討して改良を重ねた浮力合羽（浮体付き胸付きズボン）を県内漁業協同組合員向けに購入補助を行い、積極的な普及を図っている。</p> <p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人乗り漁船での落水に備え、救命胴衣の着用、携帯電話等の連絡手段の確保及び船上に上がるための縄梯子を設置することが望ましい。